

## 1 はじめに

- ・練馬区立美術館が「まちと一体となった美術館」をコンセプトの一つとして再整備される。
- ・これを契機として、中村橋が新しい美術館の立地する地域としてふさわしいまちとなるための構想として「美術のまち構想」を策定する。

## 「まちと一体となった美術館」

美術の森緑地と商店街・駅へと続く動線を一体的な景観として演出し、駅を降りたら『美術館のある街 中村橋』を創出します。町会・自治会、商店会など区民による地域に根差した活動や、学校、企業等との連携・協働により、中村橋駅周辺のエリア全体が文化芸術の拠点となるよう整備します。

(「練馬区立美術館再整備基本構想」R4.3より)

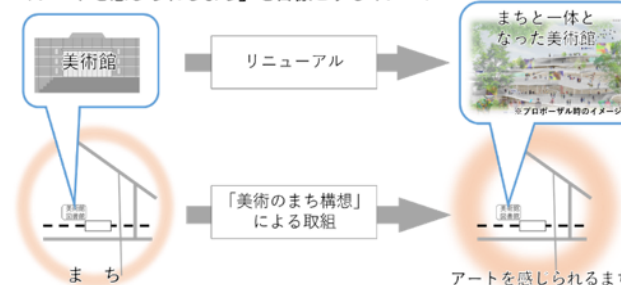
## 2 構想の範囲



## 3 目標

中村橋を「アートを感じられるまち」にする

「アートを感じられるまち」を目標とするイメージ



## 4 将来像

## 将来像 1 まちのあちこちにアートなスポットがあふれている

駅を降りると、周辺には様々なアートな演出が施されている。また、美術館への動線やまちのあちこちには、アート作品が展示されている。これらは、美術館へ向かう人や、美術館でアートを楽しんだ人、このまちで生活している人、活動をしている人に「アートなまちにいる」ことを実感させている。

## 将来像 2 美術館・図書館が地域の方々から愛されている

美術館・図書館は、再整備により機能が大きく向上するとともに、建築的にも大変魅力的な施設となった。地域の方々は、自分たちの身近にあるこの施設に愛着と誇りを持っている。このような思いから、地域の方々が積極的に美術館の運営、活動を応援し、まちと美術館が一体となっている。

## 将来像 3 アートを軸としたさまざまな活動が行われている

中村橋では、地域の方々によりアートに関連した活動やイベントが多く行われる。そこに集まる人々はアートを軸としてつながり、また新たな活動に繋がっていく。さらに、地域の方々や商店街も日常的にアートを意識するようになり、まち全体がアートな雰囲気になっている。

## 5 主な取組

## 【まちをアートな空間に演出】

駅から美術館・図書館、商店街のエリアが、再整備する建物と調和したアートな空間となるよう、建物の設計者と連携して装飾や整備などを行う。

## 【アートマルシェ】

美術の森緑地で、美術館も参加して商店街など地域が出店したイベントを開催する。

## 【アートコミュニケーター制度の新設】

館内で活動のほか、近隣の美術館応援店舗等が、企画展の周知に協力したり、店を訪れた来街者へアートの魅力を伝える。

## 【アートを軸に地域を盛り上げる活動への支援】

アートを軸として地域を盛り上げる活動を様々な形で支援し、中村橋におけるこのような活動の定着を図る。